

★つぎの文しようを読んで、後のもんだいに答えましよう。

わたしたちは、毎日の生活の中で、たくさんのごみを出します。また、ごみにも、もやせるごみやもやせないごみ、かんやペットボトルなどのようにしげんとなるしげんごみなど、さまざまなしゆるいがあります。

今、わたしたちのまわりでは、ごみを少しでもへらそうと、さまざまにな取り組みが行われています。

たとえば、買い物をしたときにふくろをもらわなかったり、使えるものはすてずに何回も使ったり、ごみをきちんとしゆるいべつに分けたりすることです。これだけでも、ごみをへらすことができるのです。

大切なのは、わたしたちひとりひとりが、ごみのことをしんけんに考え、へらすためにできることから始めることなのです。

(中林英純「くらしとごみ」より)

1 線「さまざまな取り組み」に

ついて、①、②のもんだいに答えましよう。
① 何のための取り組みですか。六字で書きましよう。

ための取り組み。

② 取り組みの内ようをつぎのようにまとめました。□に当てはまることばを、十字までで書きましよう。

・買い物をしたときふくろをもらわない。
・使えるものは□。
・ごみをきちんとしゆるいべつに分ける。

2 線「ごみをきちんとしゆるいべつに分けたりする」とありますが、ごみのしゆるいを、文しよう中から三つ書きぬきましよう。

3 ごみをへらすために大切なこととして、当てはまらないものを、アウから一つえらんで、記号に○をつけましよう。

アごみのことをしんけんに考えること
イいつもきれいで新しいものを使うこと
ウまずできることから始めること